

田園回帰への覚醒 ～信州エクスターンシップ事業の成果～

本年 3 回目となる信州エクスターンシップ（地域滞在型インターンシップ）が、8 月下旬に長野地域で首都圏大学 8 大学、県内大学 2 大学合計 37 名の 1～3 年次学生が参加し、16 企業・行政・団体を訪問し、職場見学・体験、社員等インタビューに取り組んだ。首都圏集中が進む中で、地方で暮らし・働くという選択肢拡大のためのキャリア教育を狙いとしている。

開発機構は、山間地域である小川村に協力をいただき、①小川村の概要と交流・移住・定住施策 ②小川村の庄（地域活性化・高齢者雇用）でのおやき作り・そば打ち体験 ③地域おこし協力隊員・村職員へのインタビューというプログラムに 8 名の学生が参加した。

大学を卒業し、首都圏又は近隣の企業に就職し定年を迎えるとのキャリアイメージしか描けない学生達は、特に地域おこし協力隊員へのインタビューで、その生き方・働き方、人生の選択肢に関してインパクトがあったようだ。また、小川村は「暮らす村・定年のない村」との地域ブランディングに取り組んでおり、村内での起業（コミュニティービジネス）支援や子育て・居住・古民家再生支援など暮らしにかかわる個人支援が充実している。この施策の手厚さにも驚いたようだ。最終日に 8 チームに別れ成果発表会が行われ、小川村プログラムに参加した学生は 7 チームに混じったが、各チームの中に小川村で体験した要素が入っており、あるチームは農村で暮らし・働くことについて真正面に受け止め提案する内容までであった。学生のキャリア選択の拡大に確実に結び付いたようだ。

農村で暮らし・働くこと、その異文化体験こそ田園回帰への覚醒に繋がる。10 月に行われる村祭りでは、引灯籠の引手として学生が参加する。関係人口の始まりである。

（常務理事 浦野邦衛）



【地域開発部】

協同組合教育のあり方に関する研究会を開催

5 月 22 日に伊那市の J A 南信会館において、今後の協同組合教育のあり方について検討することを目的として、地域・農業の現場で協同組合教育に取り組んできた実践者として J A 上伊那 牛山専務理事（平成 30 年 5 月 25 日退任）、（社福）松本ハイランド 高山理事長、J A 安芸 上野前代表理事組合長、J A 全中 田村教育企画課長にご参加いただいて「協同組合教育のあり方に関する研究会」を開催しました。

研究会では、組合員の意識改革には職員教育が起点になるとして、① J A 事業を通じた教育、② 協同活動を通じた教育、③ 試験・研修を通じた教育、④ 農業経験を通じた教育、の 4 点が課題として整理されました。さらに、組合員とともに営農事業改革を進めている J A 上伊那や、職員と組合員がともに学び合う J A 松本ハイランド、広報活動を基点に組合員との関係強化を図っている J A 安芸の取り組みについて報告をいただきました。

意見交換では、職員と組合員が同じテーマで共に学ぶ共通の講座や、組合員とのコミュニケーションを強化するための職員教育、協同活動などについて、実践事例を通じて議論を深めました。また、J A はもっと組合員に幸せな暮らし方を提案することができるのではないかと指摘もありました。

J A は経済事業体であると同時に、組織体としての側面ももっています。J A 綱領にある「協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。」の重要性を改めて考えさせられる研究会となりました。

内容を整理した報告書がまとまりましたのでご紹介します。報告書は当機構 WEB サイトの「研究レポート」からご覧いただけます。

（上席研究員 山内哲人）

人材就業登録者大募集！！

あなたの能力（ちから）を県内のJAグループで活かしませんか。

- ・ 農業発展に力を尽くしたい・・・。
- ・ 今まで培った経験を活かしたい・・・。
- ・ 働ける間はずっと働きたい・・・。
- ・ これからの生活設計に役立てたい・・・。
- ・ 働いてずっと健康を維持したい・・・。
- ・ 新たな仕事にチャレンジしたい・・・。
- ・ あらたな人脈作りをしたい・・・。
- ・ 地域に貢献したい・・・。
- ・ 趣味と仕事を両立したい・・・。

皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

開発機構ホームページから入力いただくことで登録ができるようになりました。
是非一度ホームページをご覧ください。⇒ <https://www.ja-kikou.or.jp/>

平成30年度派遣等職員研修会の開催について

- * 日 時：11月21日（水） 10時00分～
- * 場 所：JA長野県ビル 12A会議室
- * 研修概要：AC長野パルセイロGM 美濃部直彦講師及び日本年金機構長野南年金事務所講師、中央会講師、厚生連講師による研修
☆多キャリアアップの観点からも是非参加をお願いします！

～編集後記～

今年の夏はとにかく熱いなという印象が消え失せないうちに、涼しげな秋が突然訪れて来たような今日この頃です。今年も発生した大規模な自然災害による甚大な被害がまだ記憶に新しいところです。豪雨や大型の台風による土砂崩れ、河川の氾濫等に加えて、大きな地震によるブラックアウト等・・・。

コントロール不可能な自然の脅威を改めて実感するとともに普段から対応を心がけてまいりたいと思います。

皆様からの調査研究に関するお問い合わせや人材銀行への相談をお待ちしております。 (Y)

<発行所>

一般社団法人 長野県農協地域開発機構

長野市大字南長野北石堂 1177 番地 3 JA 長野県ビル 11 階

TEL 026 (236) 3500 (代表) /FAX 026 (236) 3505